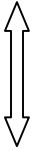


ISO14001 基礎研修

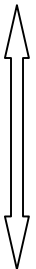
1. 「環境問題」とは何か？

① 「身近な事務所・工場周辺への問題」



機械からの騒音や振動 薬品からの悪臭 排水の汚れや漏
ごみ焼却でのダイオキシン飛散 建物からのアスベスト飛散
見た目・景観の悪さ（緑地、煙・炎、ゴミの散乱） 火災 など

② 「市・県・九州レベルでの地域的な問題」



工場などからの公害の問題：
煙突からの排気ガスで大気汚染 使用後の排水で水質汚濁
過去の薬品使用や埋立てでの土壌や地下水の汚染 など
ごみの問題：大量の発生に対する焼却・埋立て土地の不足
埋立て地の水質・土壌・地下水（水源）の汚染 限りある水資源 など

③ 「地球的規模の問題」

地球温暖化（異常気象での被害、海面上昇での水没、病原菌の増殖）
オゾン層破壊（皮膚がんの多発） 酸性雨（植物が育たない） 砂漠化 生物の種類の減少
熱帯林の減少 重大事故での海洋汚染 途上国での環境汚染 有害廃棄物の越境移動
資源（食糧、天然、地下）が不足・なくなる問題 など

2. 「ISO」とは何か？

★「ISO」は、どういう意味？

国際標準化機構=International Organization for Standardization、国際機関の名前の略称です。

ISOは、1947（昭和22）年につくられ、制定された国際規格は、15,000件以上あります。

写真フィルムの感度、ネジ、量・単位・記号（非常口のマークなど）

プラスチック、溶接、ボイラ、ポンプ、ゴム、コンクリート、セメント

ガラス容器、靴、化粧品、福祉用具、磁気カード、携帯端末 など

など様々なものが世界標準ルールとして決められています。

★「ISO14001」は、どういうもの？

「ISO14001」は、1996（平成8）年につくられました。

つくられた理由は、公害の問題や大事故の教訓もありますが、特に深刻な地球環境問題であり、これらは相互にからみ合っています。

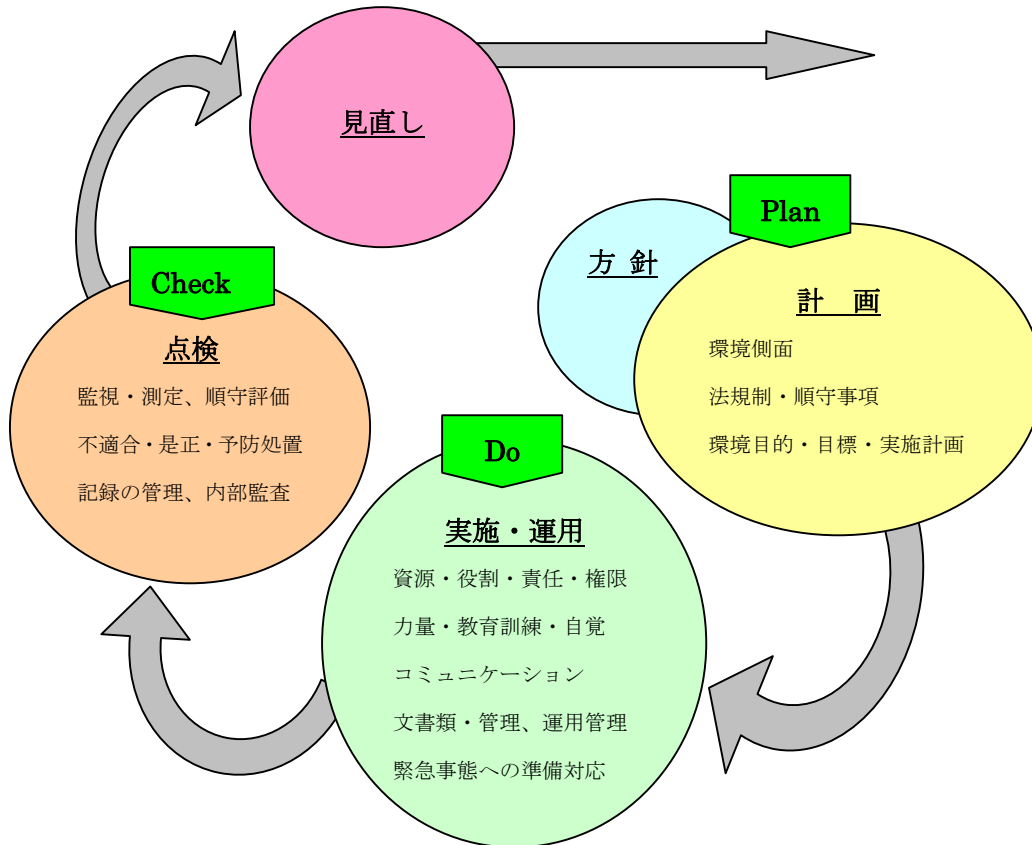
地球の何十億年の間に蓄えた資源を、数十年で使う・排出するような活動をしてきたわけです。

これから途上国が、同じような工業化に向かえば、地球がとんでもないことに成りかねないという危機感から、世界中の企業・組織の皆が共通なルールとして使えるようにつくられました。

3. ISO14001の概要

★「ISO14001」は、どういう仕組み？

ISO14001は、“環境に配慮した企業活動を継続的に実施・改善していく仕組み”を、Plan-Do-Check-Action (計画-実施-運用-点検-見直し・改善)という形で仕事の中でやっていくことです。



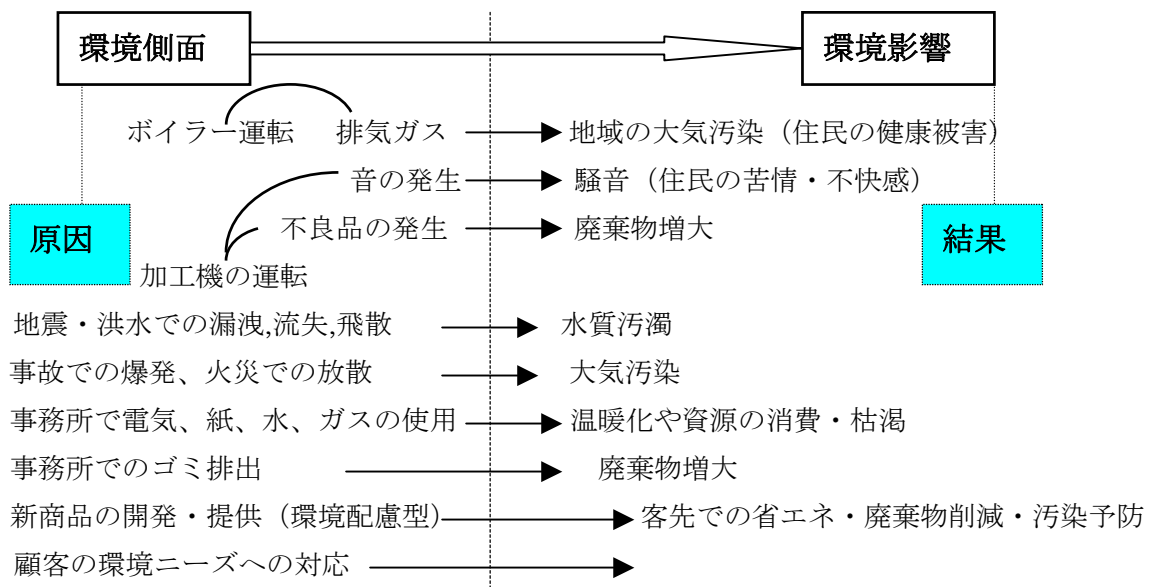
4. 環境側面（環境との関係）

加工・処理・事務所活動と「環境との関係」＝環境側面（特に、重要なもの）及び守るべき法律などを確認していく必要があります。

活動・製品・サービス	事務所の場所、設備・機器、仕事の内容ややり方の分類
環境側面	環境と関係する活動/製品/サービスの要素・要因
環境影響	活動/製品/サービスから生じる環境の変化（有害・有益とも）
著しい環境側面	環境側面のうちで、当社として重要なもの
法規制等	環境側面に適用される法律・条令・業界基準など

具体的には、環境側面と環境影響の関係は、

[環境側面は原因で、環境影響とは環境側面から生じる結果]



活動・製品・サービス	環境側面	環境影響	重大か?

5. 環境目的・目標・実施計画

環境目的	ある環境上のテーマの到達点 (ゴール)
環境目標	目的向けての経過点 (ターゲット)
実施計画	目的・目標達成のための日程・手段・責任

環境方針、重要な環境側面、適用される法規制に基づき、自分の部門にあった環境目的・目標を決めて取り組む必要があります。

環境方針	環境目的	1年間の目標

6. 手順・ルールと点検

環境方針、重要な環境側面、法規制、環境目的・目標に基づき、自分の部門の手順・ルールを決めて取り組み、点検していく必要があります。 当社では、以下のようなものがあります。

